

第30回全国都市緑化とっとりフェア

実施計画 概要版

平成24年6月4日

第30回全国都市緑化とっとりフェア実行委員会

目 次

フェアの概要	-----	1
実施計画	-----	2
会場設計	-----	3
全県展開	-----	11
屋外出展	-----	19
コンテスト	-----	20
屋内展示	-----	21
愛好者団体PR	-----	21
植物調達	-----	22
観客誘致	-----	25
広報宣伝	-----	26
参加協賛	-----	27
営業参加	-----	27
会場運営	-----	29
交通輸送	-----	30
行催事	-----	32
協働推進・人材育成	-----	34
ボランティア	-----	36

第30回全国都市緑化 とっとりフェアの概要

■開催期間

平成25年9月21日（土）～11月10日（日）

■会場

湖山池公園 お花畑ゾーン【会場名：お花畑会場】

□サテライト会場

とっとり花回廊・東郷湖羽合臨海公園

■目標入場者数

30万人

■交通

鳥取駅及びフェア臨時駐車場よりシャトルバス運行

とっとりフェアの特徴

世界ジオパークで開催される初の緑化フェア

世界ジオパークのエリア内にある

湖山池の雄大なロケーションで開催します

「鳥取流緑化スタイル」の発信

地域にある身近な自然を

ナチュラルガーデンという形で生活空間に取り入れることで、
普段の暮らしをより楽しく豊かにするととりの庭づくりのスタイルを
県内外に発信します

テーマガーデンは、全国的に人気のガーデンデザイナー

ポール・スミザー氏が

鳥取の風土に合う郷土の植物を使用したナチュラルガーデンを展開します

県民がつくるフェア

企画段階から県民の参画・参加の機会を設け、

多くの県民の手でフェアを盛り上げます

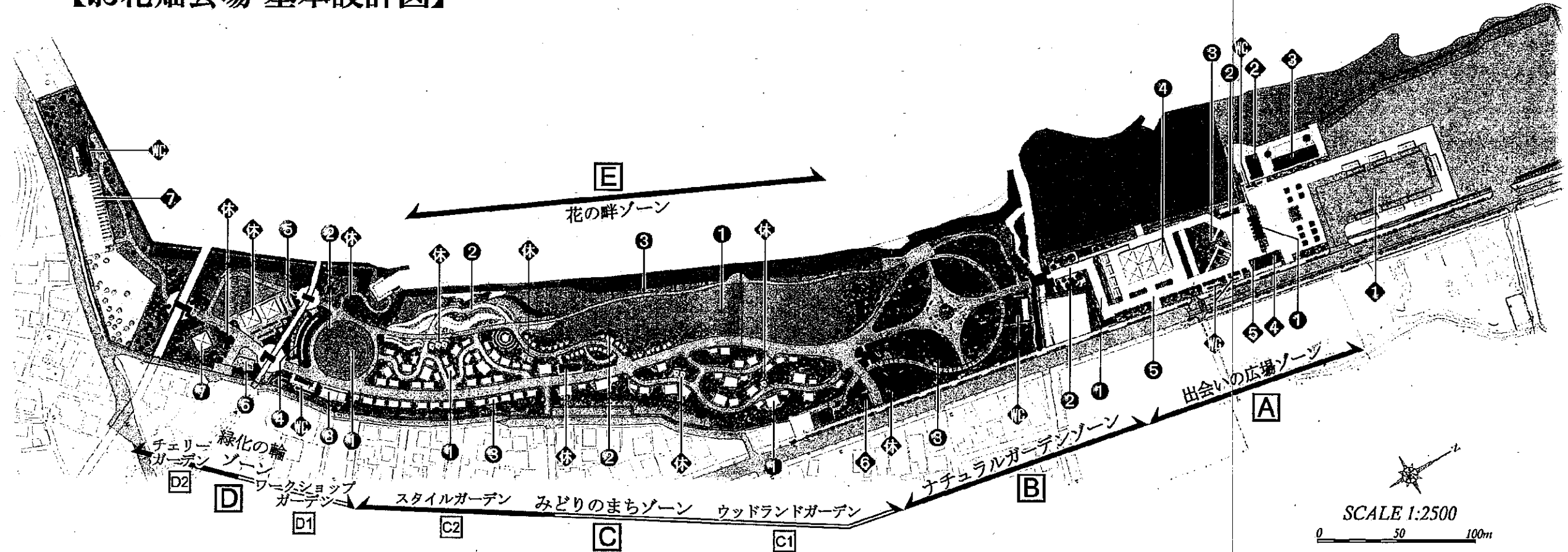
提唱：国土交通省 主催：鳥取県・鳥取市・財団法人都市緑化機構

事業主体：第30回全国都市緑化とっとりフェア実行委員会

会場設計

お花畑会場全体図

【お花畑会場 基本設計図】



A 出会うの広場ゾーン
The Encounter Field Zone

- ① エントランスゲート
- ② 花市場
- ③ ウェルカムガーデン
- ④ じげ市場
- ⑤ 緑のプロムナード

B ナチュラルガーデンゾーン
The Natural Garden Zone

- ① 多年草の回廊
- ② ガーデンエントランス
【ポール・スミザー氏特別展示】
- ③ ナチュラルガーデン

C みどりのまちゾーン
The Greenery City Zone

- C1 ウッドランドガーデン
Wood-land garden
- C2 スタイルガーデン
Style garden
- ① コンテストガーデン
【これからの鳥取】
- ② テーマガーデン
【鳥取に似合う花緑】
- ③ テーマガーデン
【故郷の花模様】

D 緑化の輪ゾーン
The Tree-planting Circle Zone

- D1 ワークショップガーデン
Workshop garden
- D2 チェリーガーデン
Cherry garden
- ① グリーンステージ
- ② コンテナガーデン
- ③ グリーンスポット
- ④ テーマガーデン【みんなの鳥取】
- ⑤ ハンギングガーデン
- ⑥ グリーンカフェ
- ⑦ グリーンスペース

E 花の畔ゾーン
The Floral shore Zone

- ① ターフガーデン
- ② アースガーデン
- ③ 夕日のベンチ

■ 運営管理施設
The administration buildings

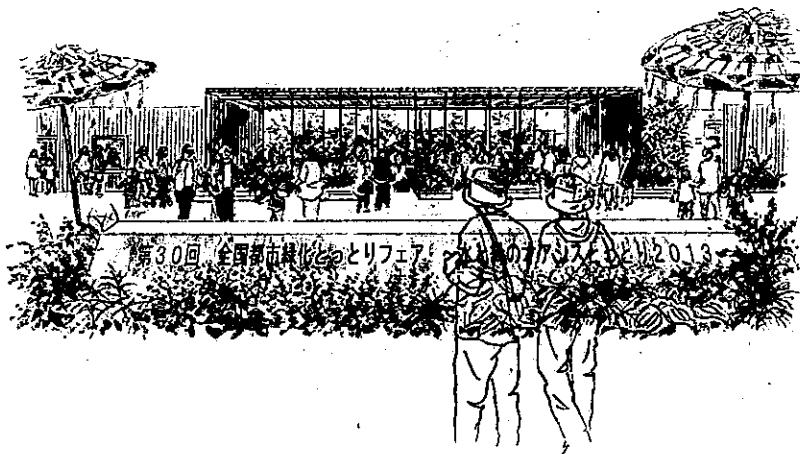
- ⑧ トイレ: Restrooms
- ⑨ 休憩スポット: The arbor
- ⑩ ターミナル
- ⑪ ボランティア棟
- ⑫ 運営本部棟
- ⑬ チケットブース
- ⑭ 総合案内所
- ⑮ 案内所棟
- ⑯ バックヤード



お花畑会場 出会いの広場ゾーン

「鳥取のもてなし」

- ◆賑やかで活気溢れるとっとりフェアのエントランス空間
- ◆満足度の高い時間を過ごすためのサービスの提供



砂像と植物の競演による「もてなし」
近年、注目を集める鳥取の「砂の文化」、砂像彫刻家茶園勝彦氏制作のサンドスカルプチャー(砂像)と草花によるエントランス

▲フェアエントランス

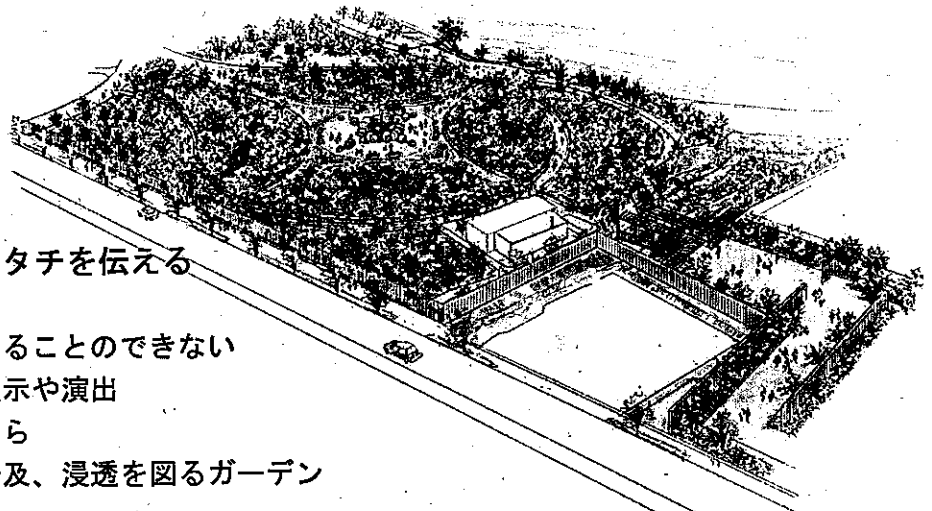
並木と草花による「もてなし」
高性の草花を背景に1、2年草と高木の足元に配するグラス類、葉物、草花が調和する会場への期待感を高める緑の「もてなし」空間

「食」と「植物」との出会い
通期飲食棟、期間飲食棟により幅広い鳥取の「食」と出会う「じげ市場」
会場で使用する植栽と同じものが購入できる「花市場」



▲並木とじげ市場

お花畑会場 ナチュラルガーデンゾーン



「鳥取の新たな緑」のカタチを伝える

- ◆とっとりフェアでしか見ることのできない
ナチュラルガーデンの展示や演出
- ◆ハードとソフトの両面から
鳥取流緑化スタイルの普及、浸透を図るガーデン

▲ナチュラルガーデン全景

期待感を高める「多年草の回廊」

「折れ曲がり」の技法を用い、ガーデンをより印象的に魅せ、期待感を高めるナチュラルガーデンのイントロダクション

ガーデンエントランス

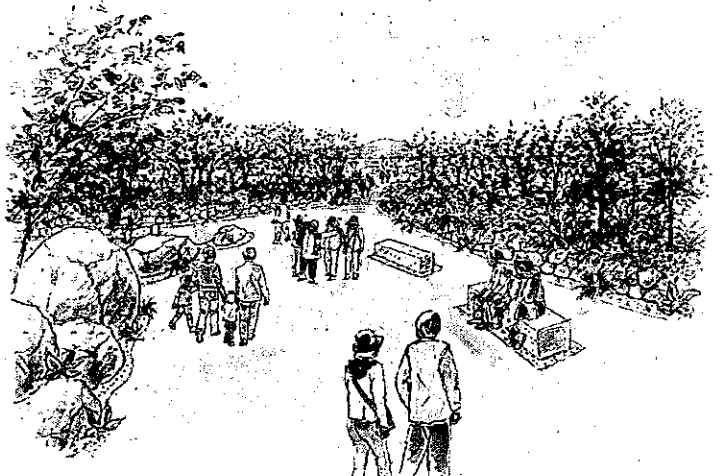
ナチュラルガーデンのエントランスであり、とっとりフェアでしか見ることのできない、ポール・スミザー氏の庭園展示空間

樹木、草花が多彩な魅力を魅せる

『秋の競園』

時期や時間、鑑賞する位置、角度、さらには、気象状況により、印象の違う何度訪れても飽きることのない自然風景式ガーデン

植物の特性を見極めた表情豊かな魅力を感じる鳥取の秋景色



▲ガーデン中央から見る湖山池

BIODIVERSITY
IMAGE

主催者展示【ガーデンエントランス】

BIODIVERSITY



ビオダイヴァシティ（生物多様性）をテーマに、地球に見立てた砂のコンテナに動物や昆虫を彫刻し、植栽テーマを設定したコンテナの多彩な植物の魅力を見せる庭園
植物の組み合わせは、植物と共に暮らす家庭でのヒントとなり、植木鉢一つ、小さな庭一つも環境に寄与することを伝えるガーデン

お花畑会場 みどりのまちゾーン

「これからの鳥取」

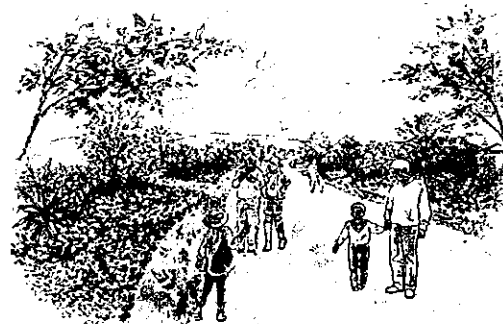
◆落ち着いた林の空間「ウッドランドガーデン」、既存の芝生空間を活用した「スタイルガーデン」に参加者の多彩な「とっどりのこれから」が表現される出展空間



▲これからの鳥取



▲鳥取に似合う花緑



▲故郷の花模様

【これからの鳥取】

企業・団体、県民、学校(高校・大学)出展

鳥取の歴史や風土、文化が育んだ資源や新しい鳥取の緑のカタチ「ナチュラルガーデン」など、参加者が表現する様々な「これからの鳥取」への想いが期待される出展

【鳥取に似合う花緑】 植物出展

植物の専門家(種苗企業や生産者等)により、鳥取に似合う植物をセレクトされた植物の知識向上を目的とした出展

【故郷の花模様】 自治体出展

各地の故郷の花を題材に花壇やオブジェで紹介する地域をPRする自治体出展

お花畑会場 緑花の輪ゾーン

「交流・協働」～まちづくりに繋がる場の象徴～

- ◆鳥取の『人が「動く」』『人が「もてなす」』『人が「発信する」』をテーマに鳥取の活力を見せ、展示する協働ゾーン
- ◆様々な参加者の活動成果発表の場、まちづくりの学習フィールド、とっとりフェアの協働の拠点

協働展示

とっとりフェア協働推進事業が中心となり、屋外での小規模な緑の教室等の開催から、中規模の講習会等の開催が可能な協働催事スポット

小中学校出展

湖山池周辺の小中学校、特別支援学校をはじめ、公募により集められた子供達の考える「緑豊かな鳥取」を生徒自身がデザイン・制作した「ペイントコンテナ」の出展

県民出展

ハンギングバスケット協会鳥取県支部が中心となり、出展空間のデザインから参画し、広く県民に緑・草花の魅力、楽しさを伝える出展空間

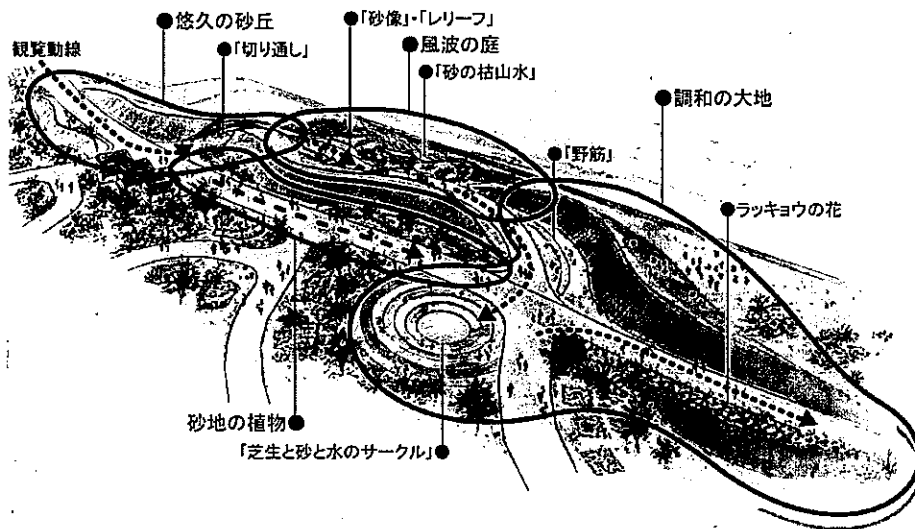


▲活動イメージ

主催者展示【アースガーデン】

「鳥取の風景」～砂と植物の芸術的なコラボレーション～

砂丘の「丘陵地形」を骨格として、次々と景（景色）が展開する「見え隠れ」の技法を基本に、その高さや生物のように美しく多様に変化する形状、オブジェにより、来場者が感動や驚きを体感・体験する庭園



▲アースガーデン全景

「悠久の丘」

丘を切り取った額縁で湖山池を「生け捕り」、印象的なジオパークの風景を演出

「風波の庭」

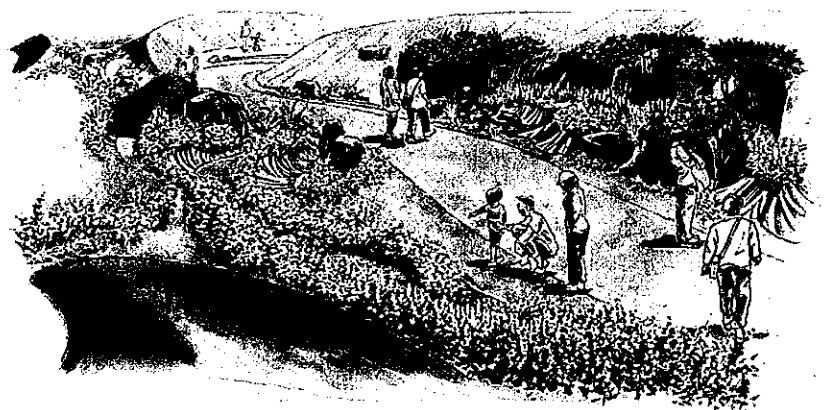
砂の波や水面、芝生の築山、石、多彩な植物により、砂の造形と植物が互いに引き立てあう「砂と植物の山水」を表現

「調和の大地」

砂丘と芝の丘により、地形と「砂」と「芝」の色彩のコントラストを強調し、鳥取の雄大さを表現

「砂地の植物」

鳥取砂丘で見られる植物などの砂地・乾燥地の植物を鑑賞、観察、学習できるエリア



▲風波の庭（イメージ）

全県展開

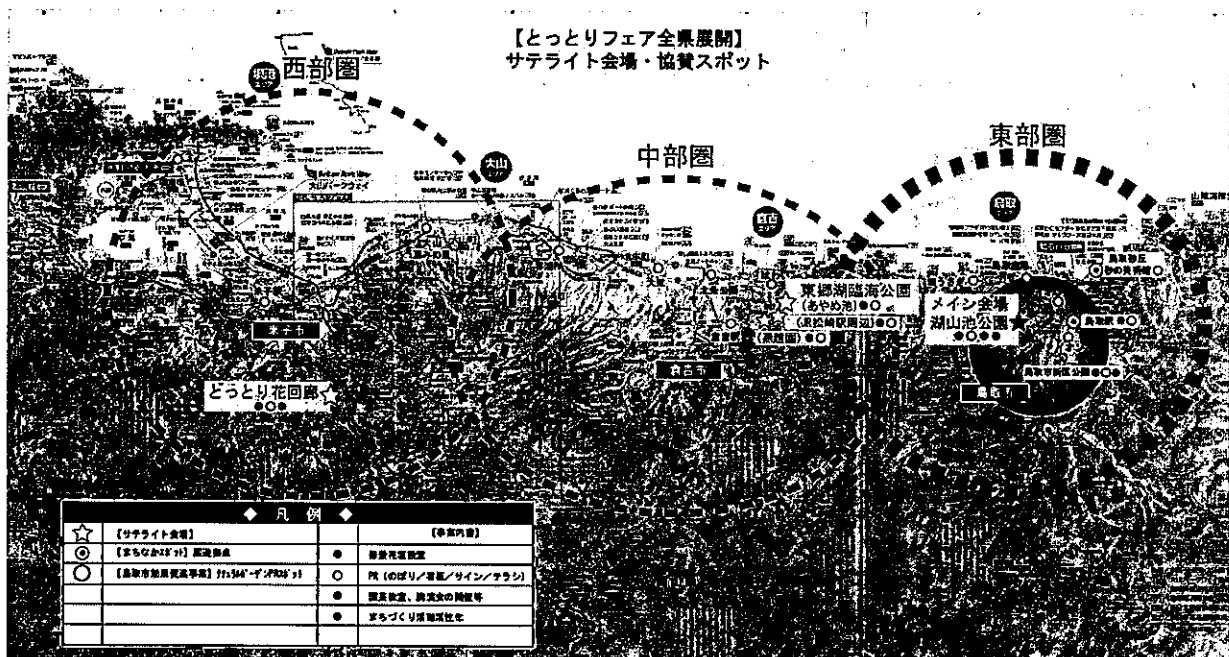
1. 設置の目的

- フェアをPR
フェアやサテライト会場と連動したPR
- 鳥取の花緑の魅力発信
地域性を活かした鳥取流緑化スタイルの展開
- フェアをきっかけとした緑化推進
まちづくりと連携した県民主体の企画運営

2. 全県展開の基本方針

- サテライト会場：県営の公園緑地・植物園を対象
中部（東郷湖羽合臨海公園：あやめ池公園／燕趙園／JR松崎駅周辺）
西部（とっとり花回廊）
- 協賛（まちなか）スポット：市内、県内の緑化推進（まちづくり）拠点や交通拠点を対象
回遊拠点（鳥取駅前／鳥取砂丘・砂の美術館）
ナチュラルガーデンPRスポット（鳥取市公園事業）

3. 全県展開位置図



4. サテライト計画

4-1. 鳥取中部圏のサテライト会場

- ・鳥取中部圏は、鳥取市と米子市の中間として重要な拠点と位置づける。
- ・あやめ池公園～JR松崎駅～燕趙園をつなぐ修景を行うことで、中部圏における緑化フェアの気運を盛り上げ、PRを図る。

4-1-1. 東郷湖羽合臨海公園／あやめ池公園（事業主体：（財）鳥取県観光事業団）

1) 事業内容：林間園路整備

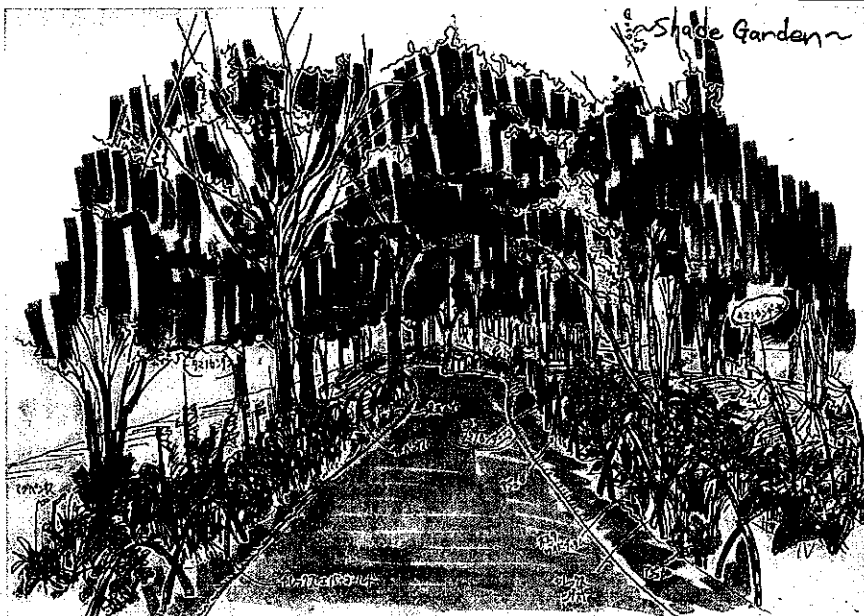
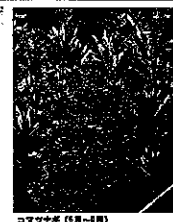
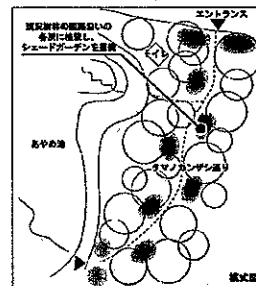
【事業対象地】あやめ池公園内「タマノカンザシ通り」

【計画方針】タマノカンザシはユリ科ギボウシ属の珍しい品種であり、あやめ池公園では、ハナショウブに続く花の修景スポットとして整備され、開花期には「タマノカンザシ鑑賞会」イベントが開催されている。このように園芸家など花の愛好家を集めるタマノカンザシ通りのポテンシャルを活かし、緑化フェアで展開する宿根草等をメインにした自然風景式のナチュラルガーデンを整備することで、更なる魅力アップを図り、相乗効果を期待する。

テーマ■ 樹林のシェードガーデン

コンセプト■ 現況樹林とタマノカンザシを活用した、シェードガーデンの敷設路を創る。連続させるのではなく、タマノカンザシと組み合わせ、密植を点在させる。

- 代表樹種 ■
- ・アジュガ マルチカラー
 - ・アガパンサス
 - ・オオバギボウシ
 - ・クリスマスローズ
 - ・ギボウシハルシオン
 - ・カレックス等
 - ・コマツナギ



4-1-2. 東郷湖羽合臨海公園／燕趙園（事業主体：（財）鳥取県観光事業団）

1) 事業内容：修景花壇整備

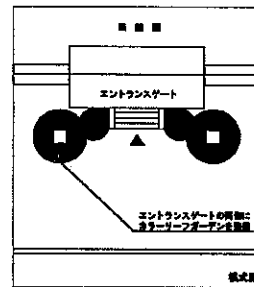
【事業対象地】 エントランスゲート前

【計画方針】 燕趙園は本格的な中国式庭園として整備され、中国雑伎団の定期公演やイベント開催により、中部圏の観光拠点として集客効果の高い施設の一つである。緑化フェアの修景花壇は、全ての来場者が通過するエントランスゲートに設置することでPR効果を高め、燕趙園のイメージに合わせ、中国を彷彿させるカラーリーフのナチュラルガーデンを演出する。

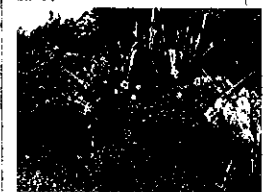
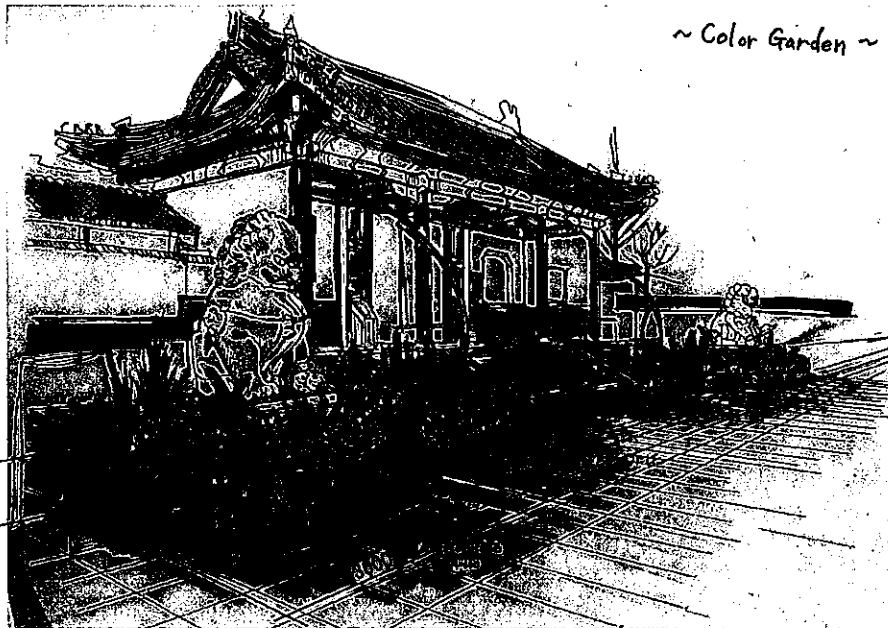
テーマカラーリーフガーデン

コンセプト 燕趙園の建物の描かれている色彩をイメージする赤・青・白等の葉物、花物のカラーリーフを混植する花壇を創出する。
御影石を利用した花壇。

- 代表樹種
- ・タカノハススキ
 - ・フェザーグラス
 - ・カレックス・エバーゴールド
 - ・アベリア・ホープレイズ
 - ・オミナエシ
 - ・ニューサイラン
 - ・ヒューケラ
 - ・コリウス
 - 等



~ Color Garden ~



4-1-3. 東郷湖羽合臨海公園／JR松崎駅周辺（事業主体：湯梨浜町）

1) 事業内容：修景花壇整備

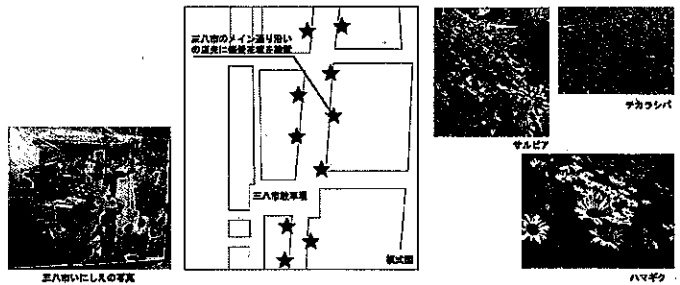
【事業対象地】 JR松崎駅前～松崎商店街各所

【計画方針】 湯梨浜町において、モッコウバラによるまちづくり、戦前から行われていた三八市の活性化、軒下ギャラリー等、様々なまちづくりを手がける活動団体である「松崎おもしろ街づくり集団」等の方々へご協力を頂き、活動拠点となるJR松崎駅前商店街を対象とし、あやめ池公園～燕趙園をつなぐ花回廊としてガーデンを展開する。

テーマ **いにしへの彩り回廊**

コンセプト **農業用の用具（背負い籠や柄杓等）を再利用したプランターと花木を組み合わせたギャラリーを商店街で展開。三八市の発祥である「稲をかける竹（わたし）」をモチーフにした仕掛けに様々なプランターを展開**

- 代表樹種
- ・サルビア
 - ・チカラシバ
 - ・パニカム・シェナンドア
 - ・ハマギク
 - ・クリスマスローズ等



4-2. 鳥取西部圏のサテライト会場

- ・日本最大級の植物園であるとっとり花回廊を西部圏の拠点として位置づけ、緑化フェアのPRを行う。
- ・大山を背景とした広大な敷地に展開する修景花壇、大規模な温室ドーム展示施設など「とっとり花回廊」のポテンシャルを活かし、メイン会場と異なる花修景を発信し、緑化フェアの魅力を西部圏からPRする。

4-2-1. とっとり花回廊（事業主体：（財）鳥取県観光事業団）

とっとり花回廊は、花卉園芸の振興事業として、鳥取県内で生産される花苗のショーウィンドウとして位置づけられる他、四季を通じて数多くのイベントが開催され、鳥取西部圏の観光施設として、花緑愛好家を始め、県内、県外からのリピーターも多い。

1) 事業内容：修景花壇整備

【事業対象地】ウエスタンゲート

【計画方針】とっとり花回廊の玄関となるウエスタンゲートに修景花壇やPRサインを設置する。フェアのマスコットキャラクターである「はなトリピー」をトピアリーに仕立てて、また、球状や下垂した菊を組み合わせ、ウエスタンゲートを彩ると共に、緑化フェアの開催PRを行う。

テーマ園 花トリピーのウェルカムガーデン

コンセプト 西側エントランスにフェアのシンボルフラワーの「山陰ギク」をベースとし、マスコットキャラクターの「花トリピー」をモチーフとしたお出迎えの修景花壇を設置する。

- 代表樹種
- ・山陰ギク
 - ・ヤマギク（コギク）
 - ・スプレーギク
 - ・ドームギク

資料記事等
 H24年度 修景花壇試設施工展示（花トリピーのトピアリー）
 H25年度 修景花壇展示（下記イメージによる施工）



山陰ギク



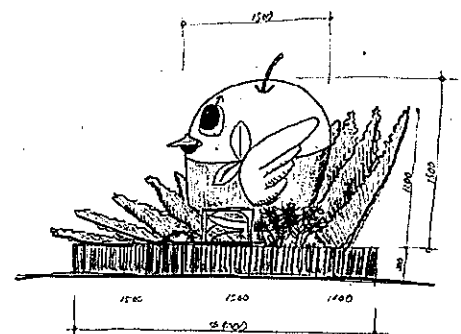
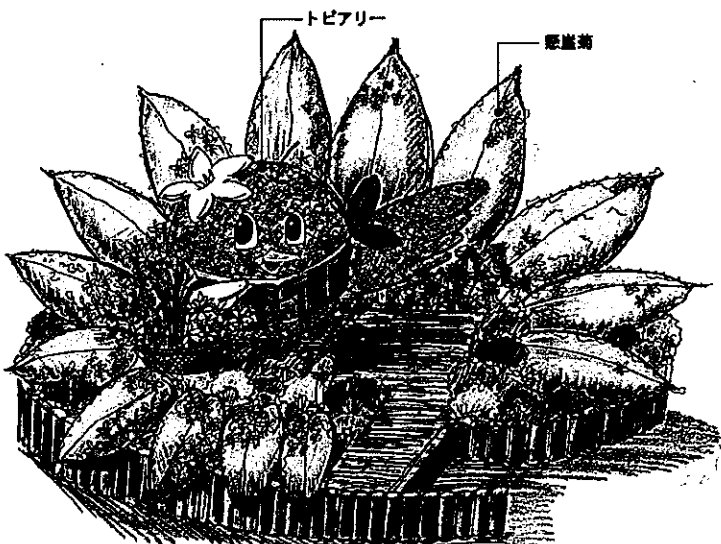
ヤマギク (ヤマギク)



スプレーギク



ドームギク



側面図

2) 事業内容： 修景花壇整備

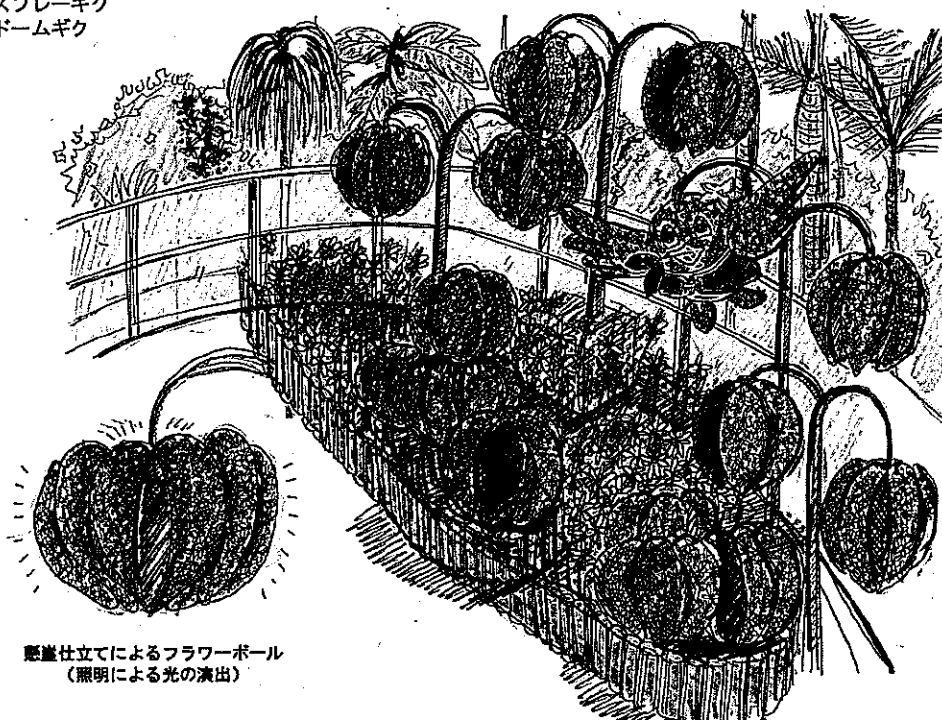
【事業対象地】 温室ドーム内

【計画方針】 とっとり花回廊の中心に立地する広大な温室ドームは、熱帯植物をベースとして四季折々の植物を展開し、多くの来園者を魅了する施設の一つである。緑化フェアメイン会場では屋外展示が主となるため、この温室ドーム内で展示を行うことにより、とっとり花回廊でしか展開できない修景花壇が可能となり、PR花壇として緑化フェアの更なる魅力を発信することが出来る。ここでは、オータムフェアで行われる「菊」をメインにしたPR花壇やフラワーアレンジを展開する。

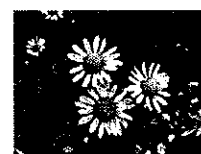
テーマ ■ 花トリピーのウェルカムガーデン

コンセプト ■ 温室の正面広場に鮮やかな色彩の懸崖菊と、内蔵した照明による光の演出を行うことで、印象的な修景花壇を設置する。

- 代表樹種 ■
- ・山陰ギク
 - ・ヤマギク (コギク)
 - ・スプレーギク
 - ・ドームギク



懸崖仕立てによるフラワーボール
(照明による光の演出)



山陰ギク



ヤマギク (コギク)



ドームギク



スプレーギク

5. 協賛（まちなか）スポット計画

1) 回遊拠点「来なんせ鳥取オアシス」

鳥取の玄関口である鳥取駅及び、鳥取県内におけるジオパークの象徴であり、東部で最も観光客を集める鳥取砂丘を「来なんせ鳥取オアシス」として名付け、メイン会場周辺の回遊性を高める重要な拠点として位置づける。来なんせ鳥取オアシスには、ウェルカムガーデン、のぼり等を設置し、さらに鳥取駅前には残日計を設置することで、会場への誘客を図る。

対象地 ■ 鳥取駅前

テーマ ■ ウェルカムガーデン

コンセプト ■ メイン会場の玄関口となる鳥取駅前においてフェアのナチュラルガーデンの植栽材料を使ったウェルカムガーデンを制作し、メイン会場の魅力をPRする。

代表樹種 ■ 宿根草



対象地 ■ 鳥取砂丘・砂の美術館

テーマ ■ 砂のガーデン

コンセプト ■ 砂丘のイメージを彷彿とさせる砂のコンテナとナチュラルガーデンを組み合わせたウェルカムガーデンによりメイン会場のPRを図る。

代表樹種 ■ 宿根草

・ESODD/CITY・
IMAGE



イメージ

GARDEN ROOMS

・ESODD/CITY・
IMAGE



イメージ

GARDEN ROOMS

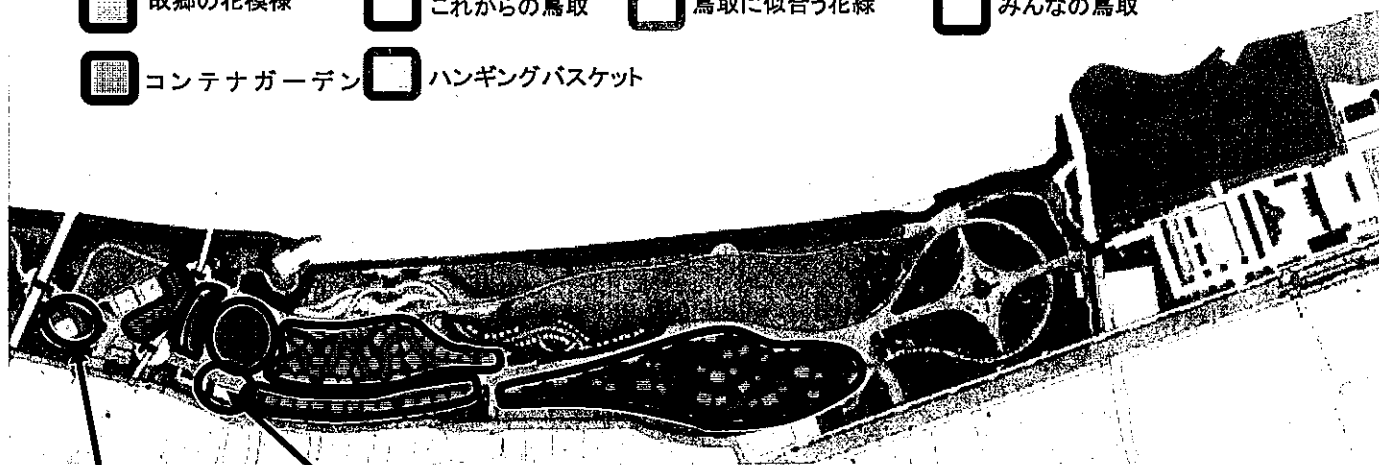
屋外出展・コンテスト・屋内展示
・愛好者団体PR・植物調達

1. 屋外出展計画
(1) 出展概要一覧

区分	出展名称 (仮称)	作品数	出展概要
自治体(都道府県、政令指定都市、県外市)	故郷の花模様	23㎡×20区画	「日本各地の心のオアシス」を花緑や資材等で表現した花壇 ※従来フェアの負担金型を採択
企業・団体等 (庭園等作品)	これからの鳥取	40~50㎡×10区画 20~30㎡×15区画 10~20㎡×25区画	これからの鳥取の花緑を提案する場として、出展者の自由な発想による庭園や花壇、緑化作品など花や緑等を用いた多様な表現スタイルの作品
企業・団体等 (品種)	鳥取に似合う花緑	4㎡×30区画	種苗メーカーや生産者等がととりに似合うと感じる植物(花苗、樹木、花木、野菜等)の単体出展
学校 (高校・大学等)	これからの鳥取	※企業・団体等出展(庭園等)の「これからの鳥取」に含む	「次世代を担う若者たちによるこれからの鳥取の花緑」をテーマに、それぞれの学習内容や研究成果をふまえた多様な表現スタイルの作品
学校 (小・中・特別支援学校)	みんなの鳥取	約2800鉢	子どもたちが絵付けおよび植栽した植木鉢の展示
県民	コンテナガーデン	(前期)30作品 (後期)30作品	出展者の自作によるコンテナガーデンおよびハンギングバスケット作品 ※ハンギングバスケットの前期は講習型を取り入れた出展方式
	ハンギングバスケット	(前期)50作品 (後期)50作品	

(2) 出展配置場所

- 故郷の花模様
 これからの鳥取
 鳥取に似合う花緑
 みんなの鳥取
 コンテナガーデン
 ハンギングバスケット



屋内展示施設
「グリーンスペース(仮称)」

愛好家団体等PRブース
「グリーンスポット(仮称)」

2. コンテスト計画

(1) コンテストの種類と対象

種類	対象	概要
屋外出展コンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ■企業・団体等出展(庭園等) 「これからの鳥取」50作品 	<ul style="list-style-type: none"> ○造園や園芸の専門家による厳正な審査 ○審査日程案 平成25年9月17日(火)
来場者人気投票	<ul style="list-style-type: none"> ■企業・団体等出展(庭園等) 「これからの鳥取」50作品 ■県民出展 「コンテナガーデン」 前期30作品 後期30作品 「ハンギングバスケット」 前期50作品 後期50作品 	<ul style="list-style-type: none"> ○来場者による人気投票 ○フェア開催期間中に2回実施 ○投票日程案 (第1回)平成25年 9月28日(土) <li style="text-align: right;">9月29日(日) (第2回)平成25年10月19日(土) <li style="text-align: right;">10月20日(日)

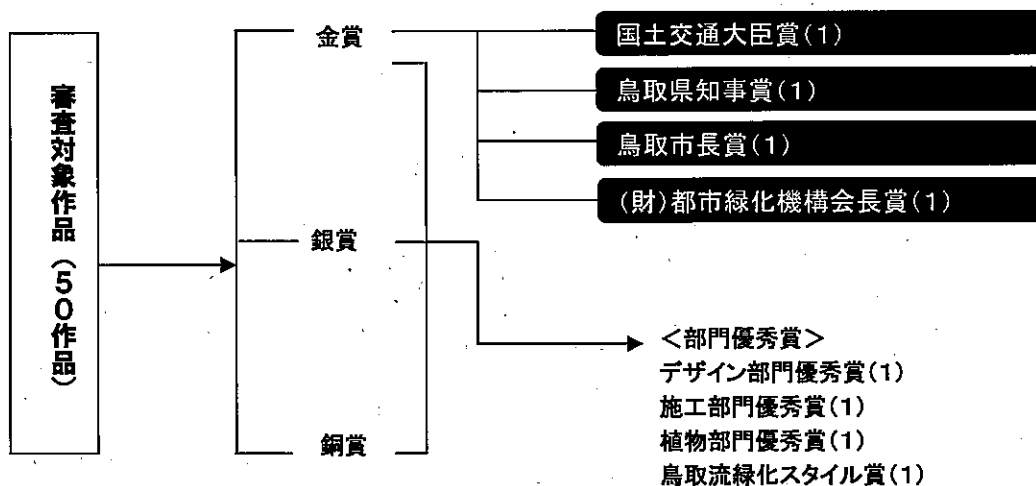
(2) 屋外出展コンテスト

①審査方法

- ・「これからの鳥取」の出展作品に対し、審査員による「採点審査」および採点審査をふまえた「協議審査」の2段階で実施する。審査基準は「デザイン性」「施工性」「植物」の3項目とする。

②賞体系

- ・採点審査の絶対評価により「金賞、銀賞、銅賞」を決定する。
- ・優秀と認められる作品に対し、関連表彰および部門優秀賞を決定する。



③表彰式

- ・「国土交通大臣賞」「鳥取県知事賞」「鳥取市長賞」「(財)都市緑化機構会長賞」は、フェア開催期間中に実施予定の「全国都市緑化祭」で表彰する。
- ・「金賞・銀賞・銅賞」および各部門優秀賞は、とっとりフェアの閉会式で表彰する。

3. 屋内展示計画

(1) 展示概要

- ・とっとりフェアの開催テーマや開催趣旨を表現する場として、会場内に仮設の展示施設（グリーンスペース：仮称）を設置する。
- ・ととりの花緑の現状やテーマガーデンなどの解説をわかりやすく表現するとともに、来場者の印象に残る展示手法を取り入れ、「ととりの魅力」を発信する場とする。

(2) 展示構成

- ・施設規模は100㎡とし、施設内の主な展示構成は以下のとおりとする。

①テーマ展示エリア	●グリーンスペースの中心的な展示物として、来場者の興味をひき印象に残るような演出を取り入れた展示エリア
②映像展示エリア	●テーマガーデンについて、映像などを取り入れながらわかりやすく紹介する展示エリア
③パネル展示エリア	●パネルを中心にととりの花緑の紹介や今後の緑化政策、花緑に関連する人材などを紹介する展示エリア

4. 愛好者団体等PR計画

- ・協働推進事業の展開場所であるグリーンスポット内に、鳥取県内の花や緑に関連する各種愛好者団体やグループによるPRブースを設置する。
- ・愛好者団体等PRブースは約30㎡とし、1団体あたりの利用日数は1～2日間とする。

【展開例】

■作品の展示や講習会

- ・作品や植物の展示会
(フラワーアレンジメント、盆栽、山野草、プリザーブドフラワー、押し花、写真など)
- ・作品制作のデモンストレーション(フラワーアレンジメントなど)
- ・ミニ体験講座 (ミニアレンジ、押し花、アートフラワー、リースなど)

■愛好団体等のPR

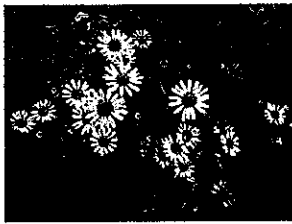
- ・団体パンフレットやチラシ等の配布、お茶やサンプリングの配布など

5. 植物調達監理計画

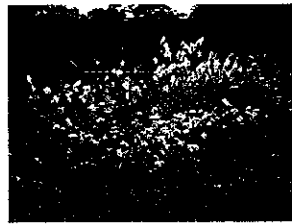
(1) 植物利用の考え方

- ・鳥取県内における植物生産の状況や気候特性などを勘案しながら、とっとりフェアのテーマに沿って、鳥取流緑化スタイルの継承につながる植物や会場を多彩に演出する植物の利用を図る。とっとりフェアのメインフラワーはサンインギクとする。
- ・上記の基本的な考え方のもとに概ね600品種、32万株程度の多様な植物を利用するとともに、とっとりフェアの特徴として宿根草や地域の特徴ある生産植物などを使用する。

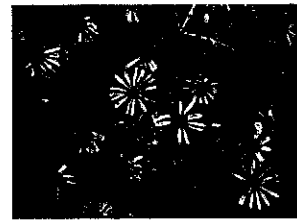
①身近な野山の植物によるナチュラルガーデン



サンインギク

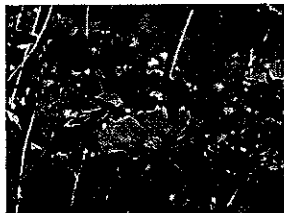


ススキ



ヨメナ

②秋の草花による花壇



コスモス



ダリア



コリウス

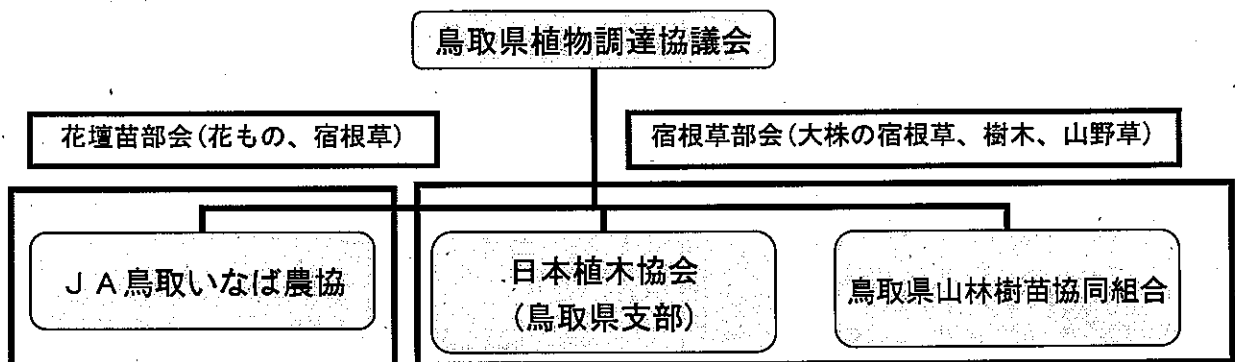


ヤナギバヒマワリ

(2) 植物の生産調達

- ・鳥取県における生産振興による産業の活性化等にも配慮しながら県内での生産調達を行う。
- ・効率的かつ円滑な植物の供給を図るために、とっとりフェアの生産調達組織として植物調達協議会を設置する。
- ・また、県内の花き振興のため、鳥取県内育成品種を積極的に採用する。

【協議会のイメージ図】



(3) 植物の施工・維持管理

- ・会場となる公園整備と連携を図りながら、とっとりフェアとしての事業によって植栽される植物の施工や維持管理を適切に実施する。

①植物施工時期と数量

名称	時期	数量
春植栽	4月中旬～5月上旬	約2万株
オープン前植栽	8月中旬～9月上旬	約24万株
会期中植栽	9月下旬～10月上旬	約6万株

②維持管理

- ・植物を常に良好な状態に保つために植物監理受託者の指導のもと、維持管理委託事業者が毎日の維持管理を行う。
- ・維持管理作業の内、花がら摘み、花壇内の清掃、除草等の作業は植物管理ボランティアの主な作業とする。

(4) 植物に関する運営

- ・会場における植物の修景や演出を通じて、緑化に関する知識の普及や啓発を図るとともに、来場者や参加者の「鳥取流緑化スタイル」の継承と県民との協働による花と緑あふれるふるさとづくりにつながるように、会場運営業務と連携を図りながら、植物情報の提供や解説などを行う。

①植物プレート

- ・会場内の植物には植物知識の普及のために植物名、学名、品種名、科名等が表記されたプレートを過不足なく設置する。

②今週の見どころ情報

- ・週毎に見ごろ・見どころの植物を選定し紹介する。
- ・毎週の見ごろ・見どころの植物は掲示版及びホームページに表示し、会場内の植物にも紹介プレートを設置する。

③ガイドへの植物情報の提供

- ・来場者の植物や緑化手法・技術などへの興味を喚起するために人的なガイドサービスを行う。
- ・ガイドについては、ナチュラルガーデンクラブによるナチュラルガーデンを対象としたものとガイドボランティアによる会場全体を対象としたものに分けてツアー方式等で実施する。

④ホームページによる植物情報の発信

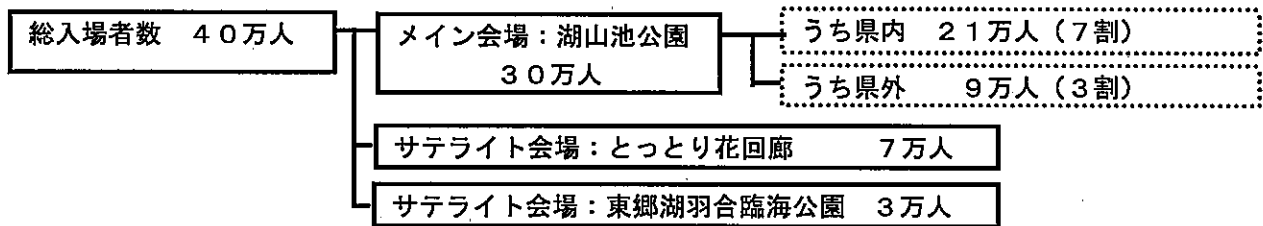
- ・来場者の入場促進のためフェアホームページに植物情報の提供を行う。
- ・植物情報については、会場内に時期毎に咲く花を紹介する「花カレンダー」や時期毎の植物関連トピックスおよび会期中の「今週の見どころ情報」等の発信を行う。

観客誘致・広報宣伝
・参加協賛・営業参加

1 基本的な考え方

- ・「とっとりグリーンウェイブ」の広報宣伝活動と連携。県内で緑化活動を実施している県民や、花や緑に関心のある県民の来場を促進する。
- ・鳥取自動車道の全線開通に伴うキャンペーン等と連動し、県外からの誘客を図る。
- ・全国的な緑化活動関係者（企業・団体等）等の動員を図る。
- ・入場券（前売券）の販売促進キャンペーンと連動させ、誘客促進を図る。

2 観客誘客目標値



3 入場料金

区分	大人料金	小中高生料金	適用範囲
当日入場券	600円	300円	
前売入場券	400円	200円	
全期間入場券	1,000円	500円	
一般団体入場券	500円	250円	有料入場者20名以上で構成される団体
無料対象者			<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児（小学生未満） ● 学校団体（高等学校・中学校・小学校） ● 障がい者手帳保持者とその介護者1名 ● 学校行事・団体旅行の引率職員及び添乗員 ● その他実行委員会が必要と認める者

(1) 前売り券販売期間

2013年1月下旬～2013年9月20日（販売期間：約8か月間）

(2) 当日券発売期間

2013年9月21日～11月10日（販売期間：51日間）

(3) 第6期鳥取砂丘砂の美術館との共通入場券の検討

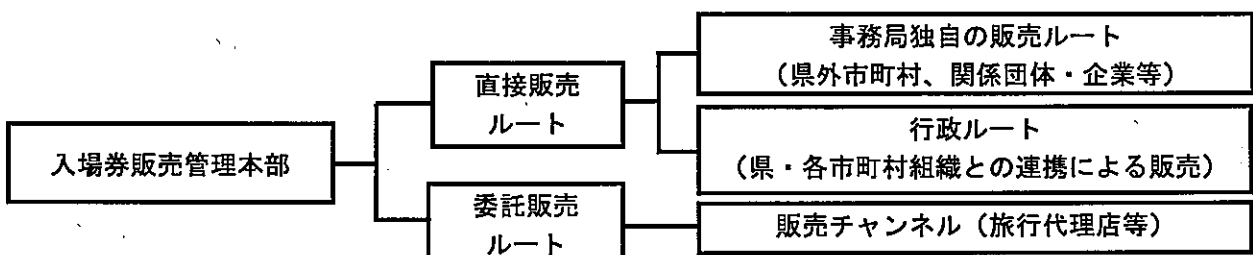
料金（案） 通常1,200円→800円（緑化フェア300円、砂の美術館500円）

(4) その他サービス特典等

- ・前売入場券の提示による県内観光施設の入場料割引
- ・チラシや県広報誌などへの優待割引クーポン券の刷り込み ほか

4 販売活動の基本方針と販売ルート

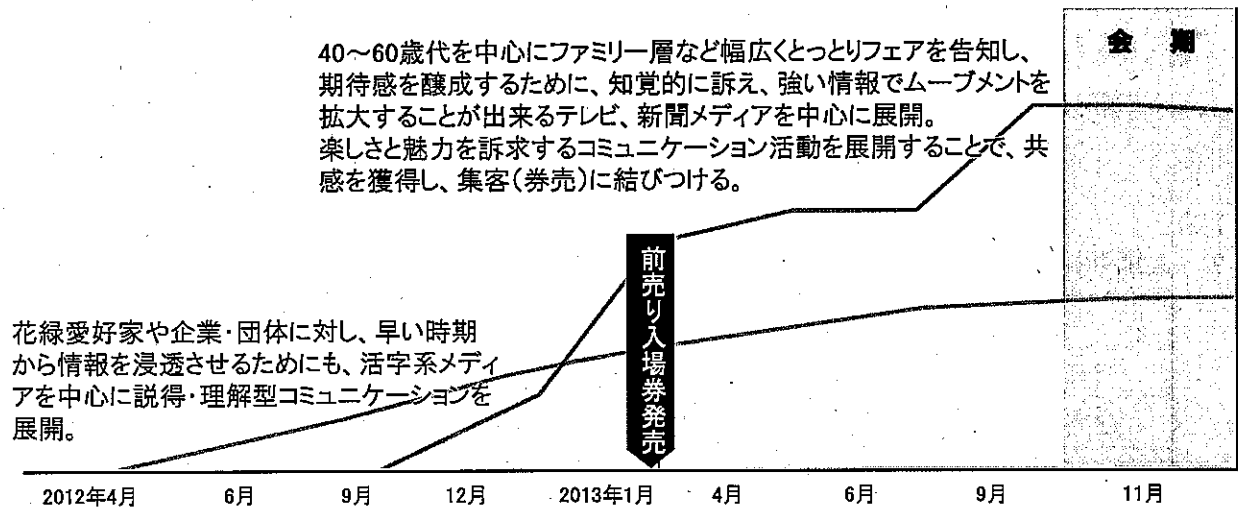
- ・目標数値を分割し、区分した目標数値の達成を目指す。
- ・販売チャンネルは入場券販売の効率性だけでなく、宣伝効果にも配慮して選定するとともに、販売チャンネルのモチベーションを高めるための施策を行う。
- ・目標達成に向けた入場券販売管理本部を設置する。



1 基本的な考え方

- ・ 公的広報及び観光キャンペーンとの効果的な連携
- ・ 県民協働による草の根広報の展開
- ・ フェアの開催目的が的確に浸透する継続的な広報活動

2 コミュニケーションとヤマ場づくり



3 プレイベント等

【カウントダウンイベント】

- ・ 1年前イベント 残日計のお披露目・1年前記念セレモニー（プレス向け企画づくり）
- ・ 100日前イベント 前売入場券の販売促進と開幕に向けた気運醸成

【前売り入場券発売セレモニー】

- ・ 入場券発売の報道を促すためのシーンづくり

4 とっとりグリーンウェイブ等との連携・連動

平成25年に鳥取県で開催される「第30回全国都市緑化とっとりフェア」と「第64回全国植樹祭」「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」に通じる県民運動として発展させて、環境日本一の鳥取県を目指すための県民運動と連携・連動を図る。

- PRキャラバン ●広報・宣伝ツール ●大会参加者の誘致

1 参加協賛



第30回 全国都市緑化とっとりフェア

企業、団体、県民が一体となって創り上げる全国都市緑化とっとりフェア

- とっとりフェアの準備段階から行催事・キャンペーンなども含めたソフト事業と、主会場を含めた県内で計画する緑化活動、花壇出展などのハード整備の両方において、あらゆる場面で企業、団体、県民参加を計画。
- とっとりフェアの各事業においては、計画づくりも含めてできるだけ早い段階からの参加を計画。
- 全ての企業、団体、県民参加は、とっとりフェアで完結するものではなく、フェア終了後もその理念を継承し「緑あふれるまちづくり」に繋げて行くことを念頭に計画。

2 営業参加

全国都市緑化とっとりフェア来場者をおもてなしする会場内サービスを計画。

(1) 飲食施設

- 地元飲食企業、観光物産企業等の協力のもと、とっとりフェアならではの飲食営業参加を展開。
- 子どもからお年寄りまで、幅広い層の方々に受け入れられることができる飲食サービスの計画。
- 全期間営業参加と土日祝のみの期間限定参加の2通りの営業参加

(2) 花緑関連商材の販売

来場者サービスの一環として、フェア会場内の植物が購入できる物販施設を設置する。

(3) 特産商材の販売

(4) 青島会場との連絡を兼ねた湖山池を周回する遊覧船

(5) ドリンク及び荷物預かりサービス

(6) グリーンカフェ

障がい者の社会参加を促進するため、障がい者施設等による直接販売を実施。

会場運営・交通輸送・行催事

■会場運営の考え方

お花畑会場については会期全日に渡り実行委員会が運営し、フィールド催事会場となる青島会場、式典会場については実行委員会が施設等を占有するエリア及び期間に関して運営を行う。

○お花畑会場（メイン会場）

■【開催日 平成25年9月21日（土）～10月31日（木）】9：30～17：00（最終入場16：30）

■【平成25年11月1日（金）～閉会日 11月10日（日）】9：30～16：30（最終入場16：00）

○青島会場（フィールド催事会場）

■【開催日 平成25年9月21日（土）～ 11月10日（日）】※期間中、3日間青島体験催事を実施予定



■ 交通輸送計画

○ 計画方針

- 全期間、パーク＆ライド(P & R)方式により、無料駐車場から会場への無料シャトルバスを運行する。
- 会場駐車場は、障がい者や、団体バス、タクシープール、駐輪場などに限定する。
- 全期間、会場と鳥取駅の間に無料シャトルバスを運行する。

○ 自家用車利用者予測人数



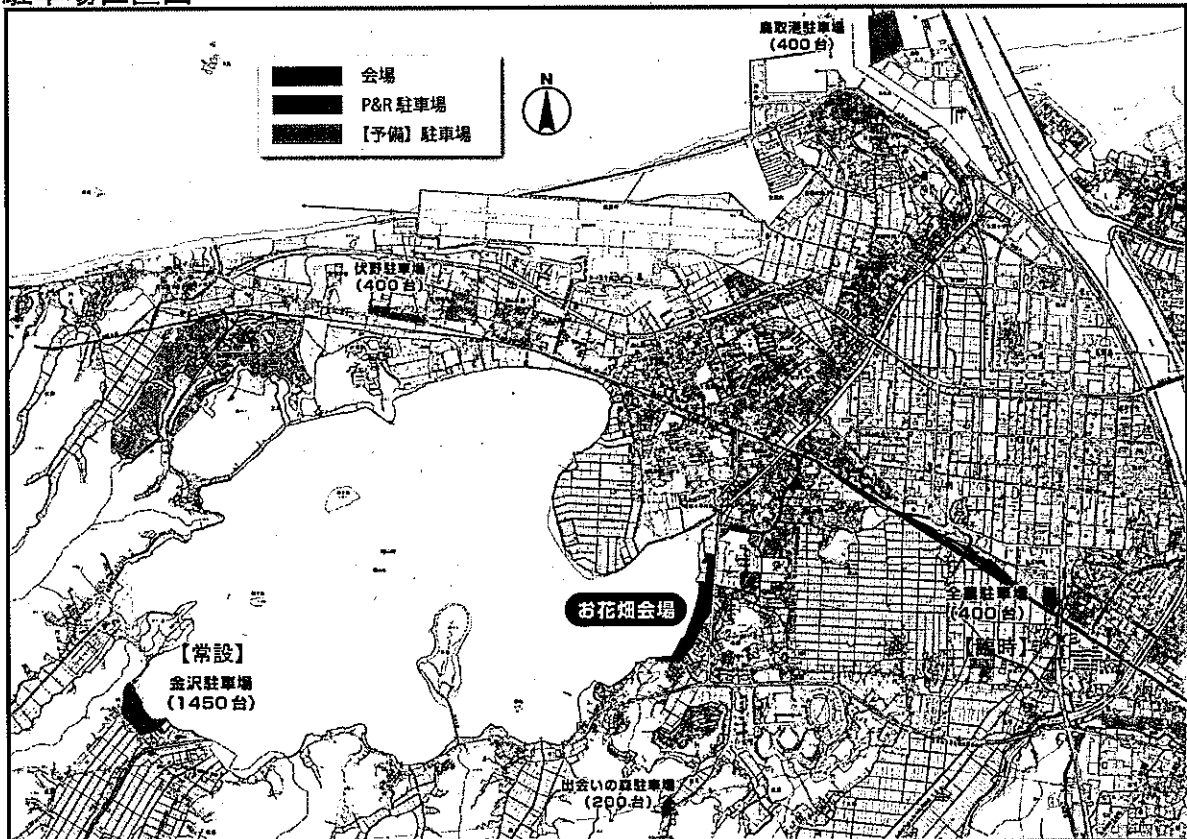
第30回全国都市緑化とっとりフェア観客動員目標 30万人

● 総入場者数に占める自家用車率は63.6(190,943人)%を予測。

	鳥取市	その他鳥取県	隣接県	その他全県	合計	入場率
人口	195,254人	391,027人	2,661,340人	124,806,268人	128,053,889人	
ポテンシャル						
前売り入場者数	67,358人	27,348人	7,334人	17,960人	120,000人	40.00%
当日他入場者数	102,084人	79,243人	9,600人	33,073人	180,000人	60.00%
総入場者数	169,442人	106,591人	16,934人	51,033人	300,000人	100.00%

総入場者数	徒歩・三輪	自家用車	団体バス	公共交通機関	合計	人口
鳥取市	19,315人	108,049人	19,053人	4,604人	151,021人	195,254人
その他鳥取県	6人	46,536人	31,157人	3,313人	81,012人	391,027人
鳥根県		2,410人	808人	853人	4,071人	716,354人
岡山県		8,754人	2,285人	1,824人	12,863人	1,944,986人
その他全県		25,194人	10,077人	15,762人	51,033人	124,806,268人
合計	19,321人	190,943人	63,380人	26,356人	300,000人	128,053,889人

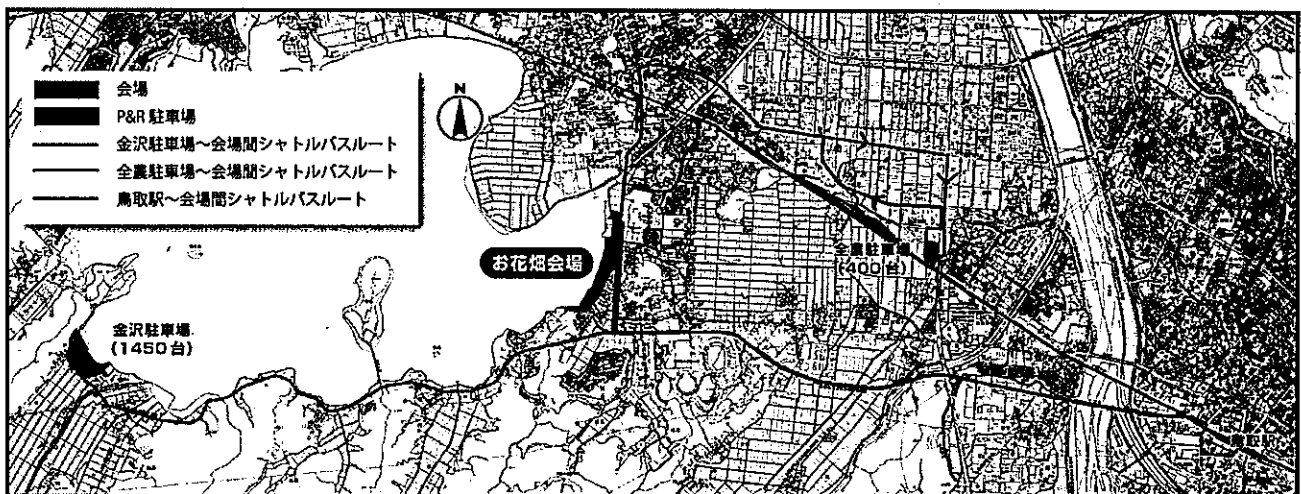
○ 駐車場位置図



○シャトルバス運行計画

本フェアのシャトルバス運行経路を以下の通り想定する。

- 「鳥取駅～お花畑会場間シャトルバス」
県内鉄道の拠点駅である鳥取駅より、バスを運行することで公共交通機関利用者への便宜を図る。利用者数、及び運営体制に合わせて無料で運行する。
- 「P&R駐車場～お花畑会場間シャトルバス」
金沢駐車場・全農駐車場からお花畑会場までの振替輸送を目的とする。利用者数、及び運営体制に合わせて無料で運行する。



○障がい者車両対策

鳥取県では、障がいのある方も暮らしやすい社会を実現するため、障がいを正しく理解し、障がいのある方への手助けを行う「あいサポート運動」（障がい者サポーター）を推進している。

交通輸送計画においても、障がい者専用駐車場の整備は勿論、低床型バスの導入、ボランティアによる誘導案内の導入など十二分な対応策が必要である。

本フェアにおいては“障がいを理解し、障がいのある方もない方も共に楽しめる環境とサービス提供”を目標とした運用を計画する。

項目	かごしまフェア			とっとりフェア		
	障がい者 車両来場 台数	障がい者 車両割合	終日来場 台数	想定来場 台数	滞留 ピーク 台数	
平日	最大	168台	15.3%	1,170台	179台	92台
土曜日	最大	148台	10.5%	2,358台	248台	119台
日祝	最大	216台	9.3%	3,079台	287台	140台

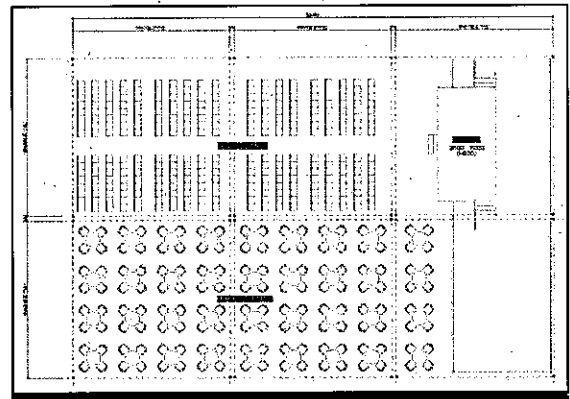
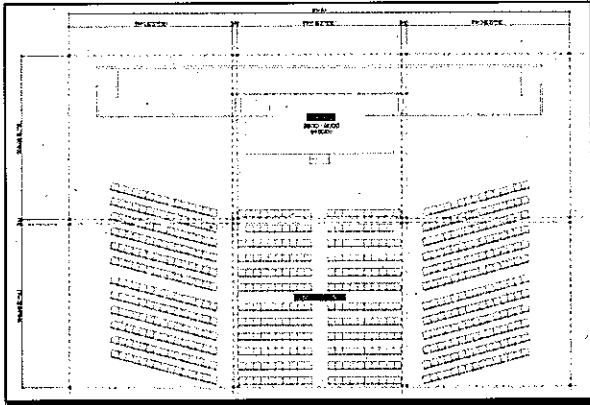
上表の滞留ピーク台数から、設置必要台数は、最低でも約140台は必要となる。

■行催事の考え方

とっとりフェアの行催事については、フェアの周知を図る事業、セレモニーとしての事業、緑化や意識の普及を図る事業、緑化活動者の交流を図る事業、地域資源の利活用を図る事業などに特化する。

【開会式】会場イメージ（じげ市場 大型テント内仮設ステージ）

【閉会式】会場イメージ（じげ市場 大型テント内仮設ステージ）



○行催事の区分

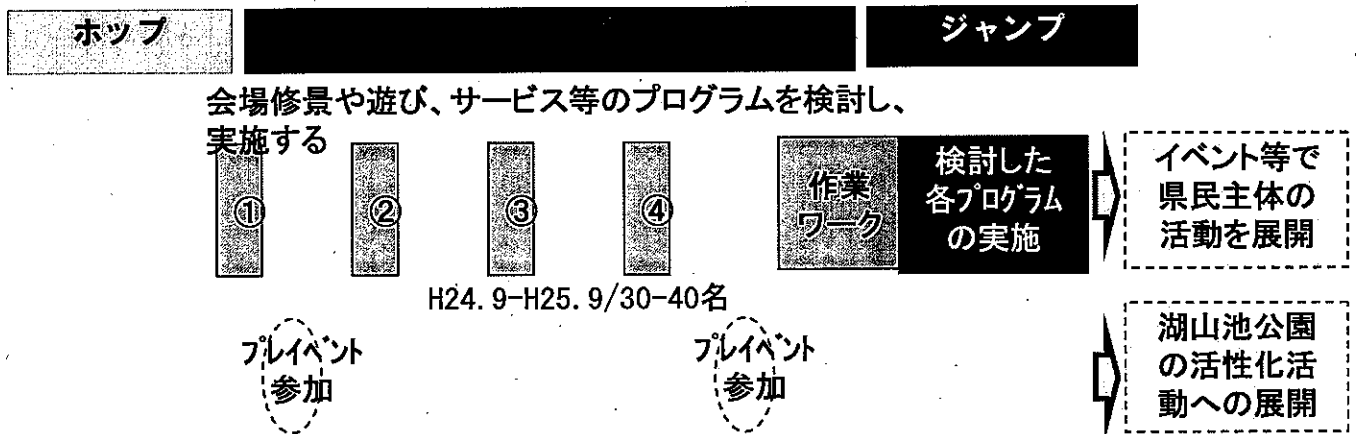
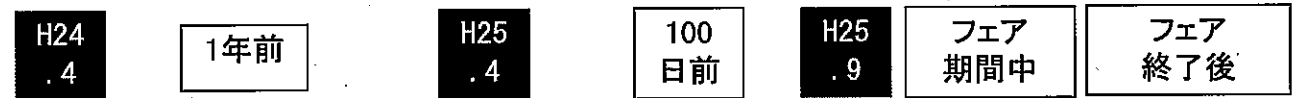
区分	主な内容	実施日時・場所
プレイベント	●1年前カウントダウンイベント	平成24年10月6日（土）
	●100日前カウントダウンイベント	平成25年6月13日（木）午後（※要調整）
公式行事等	●内覧会	平成25年9月19日（木）午後（※開催日の2日前） お花畑会場
	●オープニングセレモニー・開会式	平成25年9月21日（土） 開催日当日 お花畑会場 来場者ゲート前（オープニングセレモニー） じげ市場大型テント内仮設ステージ（開会式）
	●未来のとっとりシンポジウム	平成25年10月〇日（ ）午後（※要調整） とりぎん文化会館小ホール
	●閉会式	平成25年11月10日（日） お花畑会場 じげ市場大型テント内仮設ステージ
	●記念イベント （10万人・20万人・30万人）	お花畑会場 来場者ゲート通過後のエントランススペース
	●平成25年度全国都市緑化祭	平成25年10月初旬（平日）※想定 とりぎん文化会館梨花ホール（記念式典） お花畑会場（記念植樹、会場内御視察） 〇〇ホテル（記念祝賀会）
フィールド催事	●一般参加型催事	開催期間中の連休最終日を中心に調整 お花畑会場 グリーンステージ広場
	●市町村等公的機関PR催事	開催期間中の連休最終日を中心に調整 お花畑会場 グリーンステージ広場
	●ファミリー向け緑日系催事	開催期間中の3連休（3回、計9日）を中心に調整 お花畑会場の広場（※要調整）
	●青島体験催事	開催期間中の3連休の中日（3回）を中心に調整 青島会場等
	●花緑体験教室	開催期間中の平日及び土曜日を中心に調整 お花畑会場 グリーンスポット

協働推進・人材育成
・ボランティア

○みんなで作るとっとりフェアプロジェクト

■概要:「県民が主体的に参画・参加する鳥取らしいフェア」を実現するため、県民が主体的に会場づくりやおもてなしプログラムの運営に企画段階から関わる協働実践の場を設ける。企画検討会を4回、フェアの直前には作業ワークを2~4回実施し、フェア期間中は検討したおもてなしプログラムを運営する。

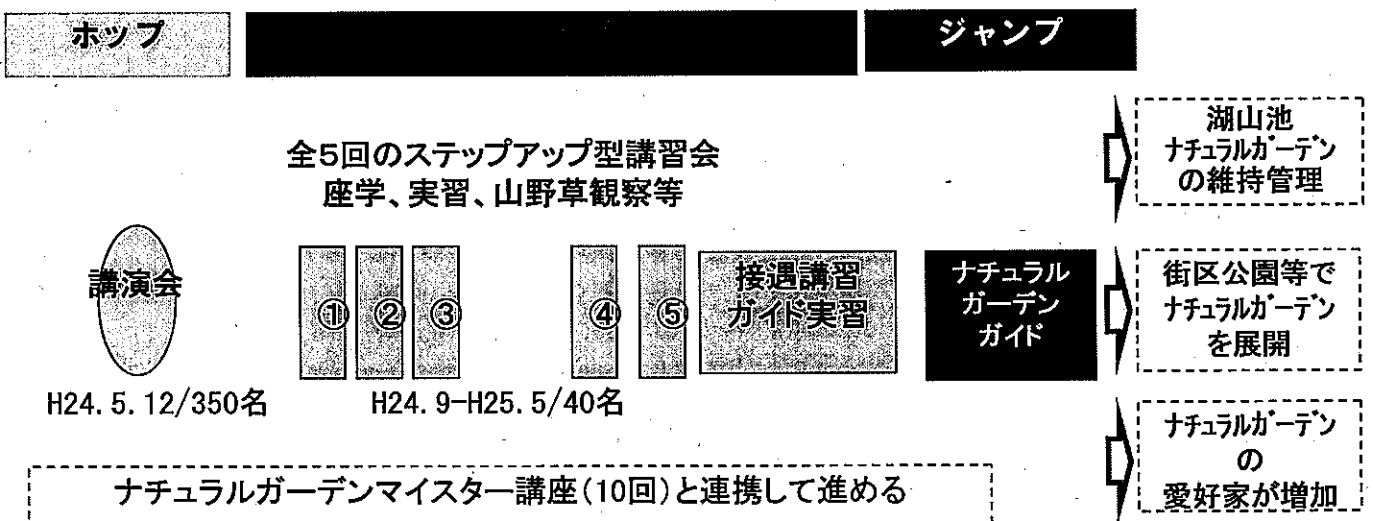
■人数: 30名~40名



○ナチュラルガーデン倶楽部

■概要:フェアをきっかけに、ナチュラルガーデンづくりや普及に取り組む人材を育成することを目的として、ポール・スミザー氏をメイン講師に迎え、ナチュラルガーデンを基本から学べる全5回のステップアップ型講習会を開催する。また、受講者は、フェア期間中にナチュラルガーデンのガイドを行う。

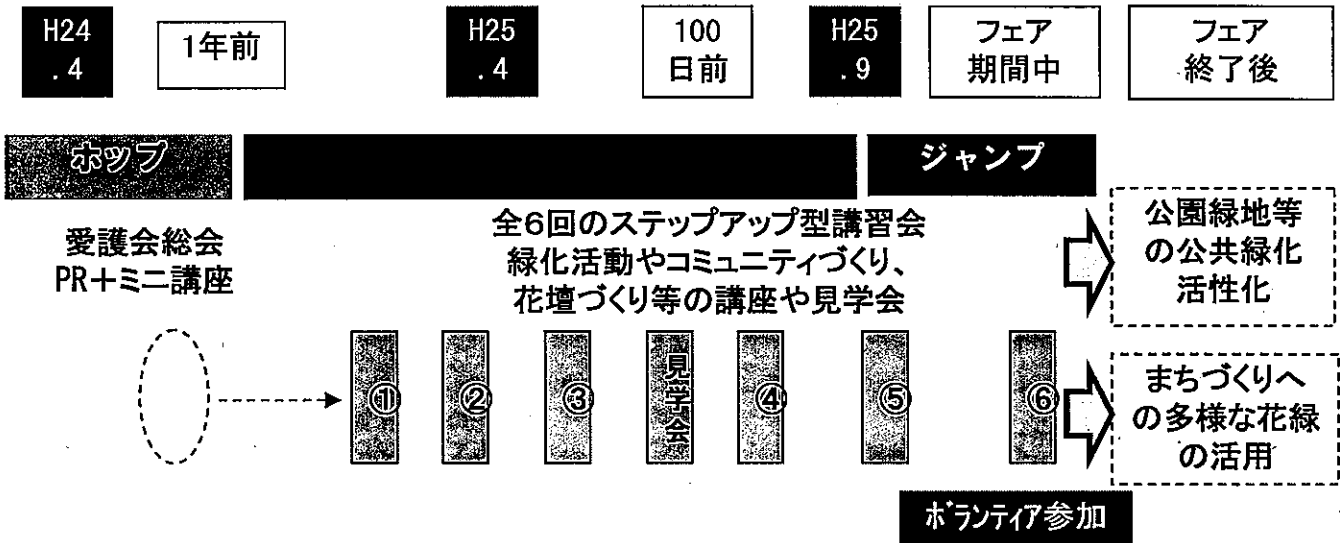
■人数:40名



○花と緑のまちづくり講座

■概要：花緑の育成技術だけでなく、幅広く花と緑のまちづくりに関するノウハウを学べる講座を開催し、推進の核となるリーダーを育成する。全6回＋見学会（県外先進地）のステップアップ型講習会。

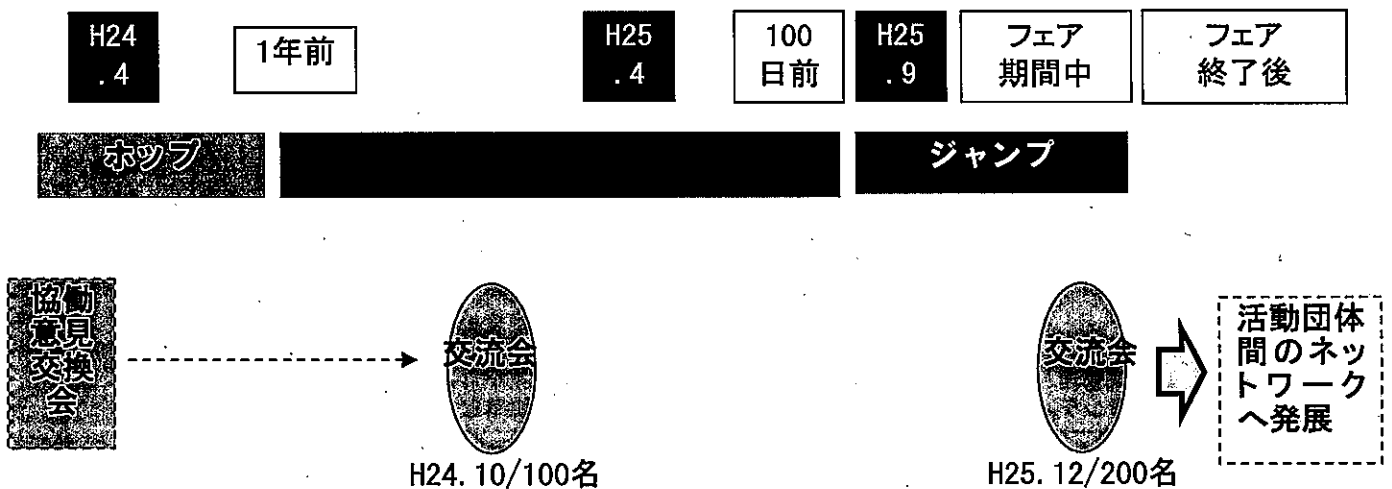
■人数：25名



○花緑交流会「鳥取みどりすとカフェ」

■概要：県民主体の花と緑のまちづくり活動の活性化を促すため、県内外の活動発表や講演会を聞いたり、緑花活動家同士が気軽に交流できる場を設ける。

■人数：100名～200名



■ボランティア計画

(1) ボランティア計画の考え方

とっとりフェアでは県民と行政・企業が一体となった運営の実現を目指し、参画・参加しやすいボランティアの仕組み作りと、参加者の満足度を高めるサポート体制の構築を図る。

また、充実したサポート体制により、質の高いサービスを提供し、社会貢献や緑化意識の向上による緑化活動の展開につながる人材の育成を図る。

(2) 活動の区分と概要

とっとりフェアでは、参加頻度や関わり方の違いにより、「コアボランティア」「サポートボランティア」の2つに大別する。

- ①コアボランティア・・・フェアの開幕前から長期にわたって主体的に携る県民
- ②サポートボランティア・・・フェア会場で運営サポート等を担う県民

(3) ボランティアの参加・参画形態

区分	参加内容		活動内容		活動人数/日	募集時期
			会期前	会期中		
コアボランティア	●みんなでつくるとっとりフェアプロジェクト	催事の企画・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の参加 ・イベントの参加 ・会場制作参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑花の輸運営管理 ・おもてなしプログラムの実施 	30～40人受講	平成24年7月
	●ナチュラルガーデン倶楽部	ナチュラルガーデンガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の受講 ・実習の受講 ・ガイド講習会の受講 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナチュラルガーデンガイド運営 	40～50人受講	平成24年8月
	●花と緑のまちづくり講座	実習・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・花緑講座受講 ・花緑実習受講 	<ul style="list-style-type: none"> ・花の管理(有志が参加) 	25人受講	平成24年8月
サポートボランティア	●ボランティアサロン運営補助	サロン運営補助	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の参加 ・ボランティアサロンでの講習会参加 ・研修会参加 ・事前準備業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンの運営・事務業務等補助 	2人	平成24年9月以降
	●会場サービスボランティア	案内サービス		<ul style="list-style-type: none"> ・案内所業務補助 ・パンフレット配布 ・来場者のお出迎え ・迷子対応補助 ・介助サービス ・ベビーサービス ・ペットサービス など 	8～10人	
		貸出しサービス		<ul style="list-style-type: none"> ・貸出所受付対応 		
		通訳		<ul style="list-style-type: none"> ・手話、外国語通訳 		
		巡回サービス		<ul style="list-style-type: none"> ・案内、巡回 ・環境美化 		
	●植物管理ボランティア	植物維持管理		<ul style="list-style-type: none"> ・花がら摘み ・除草など 	10人	
●ガイドボランティア	ガイドツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・会場内ガイドツアー ・展示ガイド 	3～5人			
●催事サポートボランティア	緑花の輸運営補助	<ul style="list-style-type: none"> ・緑花の輸運営業務補助 ・催事運営補助 	5人			

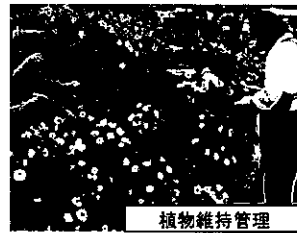
サポートボランティアの活動イメージ



サロン運営補助



会場サービス



植物維持管理



ガイドツアー

(4) ボランティア実施体制

ボランティアの活動は様々な部署および委託業務にまたがるため、フェア事務局とボランティアサロン（ボランティア本部）を中心に、関係する部署全てが綿密な連携を図り、活動が円滑に行なえる実施体制の構築を行なう。
※各活動はボランティア単独で行なうのではなく、それぞれに配置する担当スタッフのサポートで実施する体制を計画する。

(5) ボランティア募集計画

ボランティア募集については、活動内容に応じた募集内容・方法を検討し、事業への幅広い参画・参加とともに、確実な登録人数の確保を目指す。
※サポートボランティアの募集は、活動毎に必要な人数・期間中の参加日数を設定し、登録必要人数を計画する。

サポートボランティア登録目標人数 = 400名

(6) ボランティア推進スケジュール

全体		●ボランティアサロン (事務局内) 設立			●ボランティア サロン (会場) 設立	第30回全国都市緑化とっとりフェア 開催
とっとりフェア プロジェクト	活動内容確定 / 募集告知調整	●募集実施	参加者集約、適時案内実施 検討会・会場制作 準備～実施		会場制作 活動説明会 実施	
ナチュラル ガーデン 倶楽部	活動内容確定 募集告知調整	●募集実施	参加者集約、適時案内実施 講習会(講座・実習) 準備～実施		ガイド 講習会 実施	
花と緑の まちづくり 講座	参加内容確定 募集告知調整	●募集実施	参加者集約、適時案内実施 講座・実習 準備～実施			
サポート ボランティア	活動内容、 募集内容等 実施計画 調整期間	募集告知 調整 募集用紙 作成	●募集開始 募集実施、参加者集約 問い合わせ対応	●登録人数 確定 追加募集 調整	説明会・ 研修会 実施 シフト 作成・ 調整	